

オンライン測定とオフライン分析による 西アフリカ途上国における大気汚染物質の動態と影響の解明



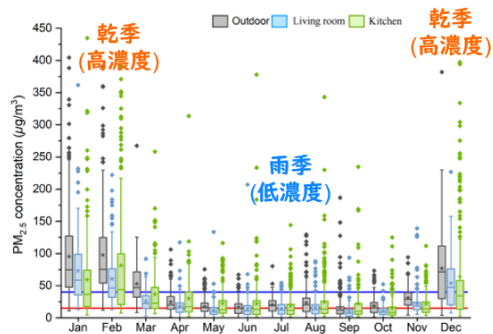
長崎大学総合生産科学域 2025年度学域プロジェクト

(研究代表者) 中山 智喜



小型計測器によるオンライン観測とオフライン分析を組み合わせることにより、
西アフリカにおけるPM_{2.5}等の大気汚染物質の動態の解明を目指している

<小型センサによるPM_{2.5}濃度の多地点観測の例>

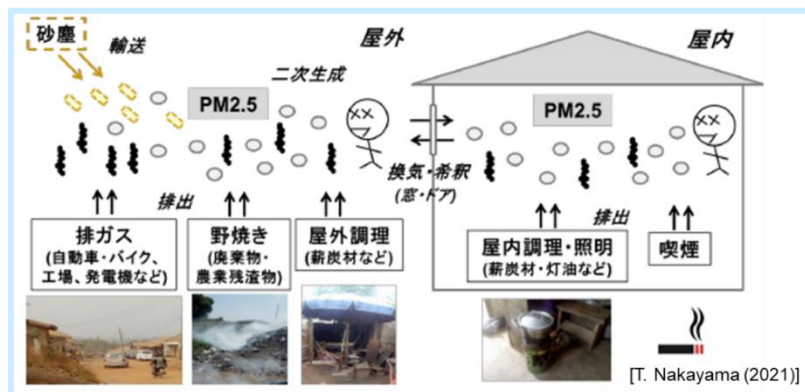


[Saetae, Nakayama et al. *Atmosphere* (2025)]

<PM_{2.5}の捕集の例 (化学成分等の分析の実施)>



[Nakayama et al. (in prep.)]



<乾季>

- ・ バイオマス燃焼(焼き畑, 調理など)
 - ・ 土壌粒子(サハラダストなど)
- が重要な寄与

<雨季>

- ・ 自動車排ガスやディーゼル発電機の寄与が増加